

23 観光復興対策支援事業

- 【日 時】 ①平成 27 年 2 月 13 日（金）～15 日（月）
②平成 27 年 2 月 16 日（月）
- 【場 所】 ①名古屋市 ポートメッセなごや「冬スポ WINTER SPOTRS FARE2015」
②名古屋市 名古屋駅中央コンコース「“つながろう木曾” キャンペーン」
- 【内 容】 以下のとおり

平成 26 年 9 月に発生した御嶽山噴火災害は、観光業を中心として地域経済に深刻な影響をもたらしましたが、上下流交流事業では、災害発生後のイベントで火口周辺の規制情報を示した地図を掲示するなど、正確な情報の提供に努めてきましたが、冬季観光の要となるスキー場への支援を強化するため、平成 27 年 2 月に追加事業として 2 つのイベントに参加・実施しました。

噴火の影響により周辺規制区域にゲレンデの一部が含まれていた王滝村の「おんたけ 2240」は、12 月以降オープンできない状況が続いていましたが、平成 27 年 1 月 19 日気象庁より発表された新たな規制情報で規制区域が縮小されたことにより、2 月 26 日オープンに向け準備を進めることになりました。これを支援するため、木曾観光復興対策協議会（事務局：木曾観光連盟）や王滝村などと連携し、オープン直前の 2 月中旬に名古屋市内で集中的に PR 活動を行いました。

2 月 13～15 日には、ポートメッセで行われた「冬スポ WINTER SPOTRS FARE2015」に出展し、来場者を対象にリフト券引換券等が当たる無料の抽選会を行ったほか、観光パンフレットのセットと「つながろう木曾」のステッカーを貼付したペットボトルの水をプレゼントしました。ブースが設置された場所がちょうど会計出口のすぐ隣にあったため自然と行列ができ、各日とも数時間で予定の景品が終了しました。「冬スポ」イベントには、私たちのほかに長野県内の伊那や、昨年 11 月に地震が発生した白馬村からもブースの出展があり、宿泊券やリフト券が当たる抽選会を行っていました。

【来場者数：約 8,000 人（主催者側発表）、ノベルティ配布数：1,500 組（ペットボトル）】

2 月 16 日には、名古屋駅中央コンコースにおいて、おんたけ 2240 のオープンと「“つながろう木曾” 応援ありがとうキャンペーン」の周知を行いました。この日は木曾地方事務所や町村からもご協力いただき、11 時 30 分ごろからノベルティとして観光パンフレットと水のペットボトルのセット 1,000 組を配布しました。通行客の皆さんからは、御嶽山噴火の影響について心配いただき声も数多くいただきましたが、規制区域の状況についてスタッフからの説明を聴き、「今度木曾へ行きます」とお話してくださるお客さまもいらっしゃいました。用意したノベルティはおよそ 1 時間で配布が終わりました。

今回の支援事業実施にあたっては、長野県名古屋観光情報センターのご協力により中京圏のマスコミへプレスリリースしていただいたこともあり、多くの新聞社やテレビ局に来場いただき、ニュースや新聞記事として取り上げていただくことができたため、PR 効果を高めることができました。

☆イベントの様子



冬スポ：抽選会の様子



冬スポ：抽選会の様子



冬スポ：テレビ局の取材



名古屋駅：配布前の様子



名古屋駅：配布の様子



名古屋駅：配布の様子



名古屋駅：テレビ局の取材



期間中配布したペットボトル水